

令和 2 年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	小林 美那子
全体計画						経費区分	—			内線	3615	
事務事業名		4274 学校保健事業										
所 属		300100 教育委員会事務局・学校教育課										
施 策		02010700 特色ある魅力的な学校づくりの推進										
予 算		01 一般会計										
科 目		100701 教育費・保健体育費・保健体育総務費										
事業		030000 学校保健事業										
事業目的						事業概要・効果						
学校内の環境衛生を整え、伝染病予防等を図る。 また、学校管理下における児童・生徒の災害（負傷・疾病等）時に必要な給付が受けられるようにする。						学校では児童・生徒等の災害を起こさないことが肝心であるため、学校の環境衛生を整えるなど安全管理部分を充実させ、学校が教育の場として、また多数の児童・生徒が集団生活をする場にふさわしく最も健康・安全に適した場所となるようにする						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
学校内の環境衛生整備、伝染病予防等の啓発等の実施 学校管理下における児童・生徒の災害（負傷・疾病等）時に必要な給付手続きの実施	学校内の環境衛生整備、伝染病予防等の啓発等の実施 学校管理下における児童・生徒の災害（負傷・疾病等）時に必要な給付手続きの実施
平成29年度 実績	平成30年度 実績
学校内の環境衛生整備、伝染病予防等の啓発等の実施 学校管理下における児童・生徒の災害（負傷・疾病等）時に必要な給付手続きの実施	学校内の環境衛生整備、伝染病予防等の啓発等の実施 学校管理下における児童・生徒の災害（負傷・疾病等）時に必要な給付手続きの実施
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
学校内の環境衛生整備、伝染病予防等の啓発等の実施 学校管理下における児童・生徒の災害（負傷・疾病等）時に必要な給付手続きの実施	学校内の環境衛生整備、伝染病予防等の啓発等の実施 学校管理下における児童・生徒の災害（負傷・疾病等）時に必要な給付手続きの実施

指 標 名	無し					
算 式						単位
年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		8,094	7,897
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	8	6
一般財源		8,086	7,891
人 員 数 (人)	正規職員	0.1	0.1
	嘱託職員	0.4	0.6
	臨時職員	0.3	0.0
人 員 コスト	正規職員	726.5	726.5
	嘱託職員	1,131.6	1,697.4
	臨時職員	389.4	0.0
	計	2,247.5	2,423.9
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		10,341.5	10,320.9

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	3,461	消耗品、印刷製本費、医薬材料費
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	3,760	日本スポーツ振興センター共済掛金負担金、県都市学校保健会負担金
その他	873	手数料

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	3,479	消耗品費、印刷製本費、医薬材料費
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	3,902	日本スポーツ振興センター共済掛金負担金、県都市学校保健会負担金
その他	516	手数料

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必 要 性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	必要不可欠
評 価 コメント	学校内の環境衛生を整え、伝染病等の予防を図る。また、学校管理下における児童・生徒の災害時（負傷、疾病等）に必要な給付が受けられるようにするために必要不可欠。	
有 効 性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	大変有効
評 価 コメント	学校では、児童・生徒等の災害（負傷、疾病等）を未然に防止することが肝心であるため、学校の環境衛生を整えるなど安全管理部分を充実させ、学校が教育の場として、また多数の児童・生徒が集団生活をする場にふさわしく最も健康・安全に適した場所となるようにする。	
効 率 性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評 価 コメント	児童・生徒の保健衛生の保持及び災害共済の給付を適切に実施している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

児童・生徒の保健衛生の保持及び災害共済の給付を適切に実施することができた。
 学校医（内科）の報酬について、医師会とも相談して学校規模により報酬額を決める方式に変更した

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

児童生徒の安全管理上必要な事業

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

年度末から新型コロナウイルス感染症対応が求められることとなり、より一層重要な事業となった。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント
